

おおきなガラス玉のある家

第22回空間デザイン・コンペティション 「あたたかいガラスの家」

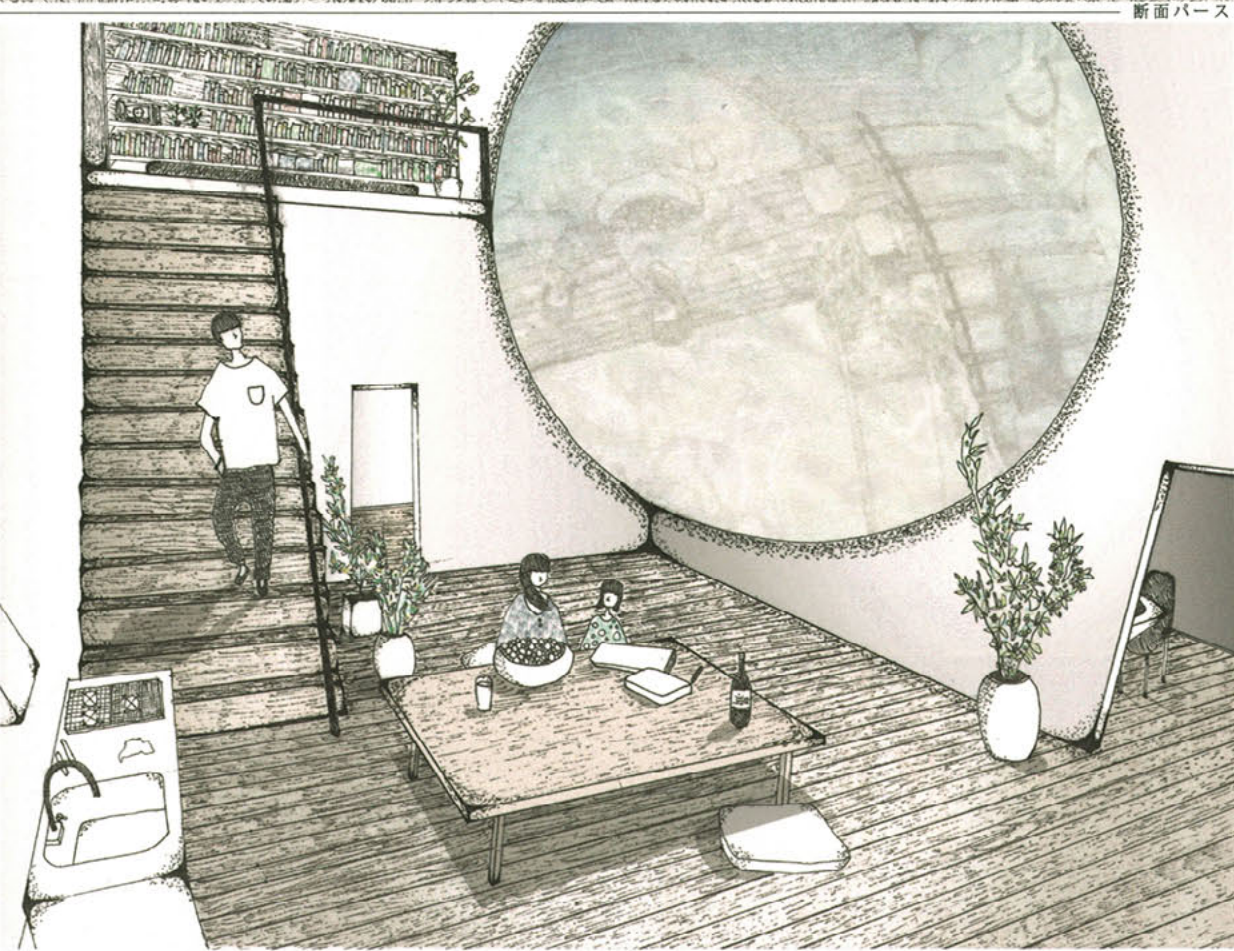
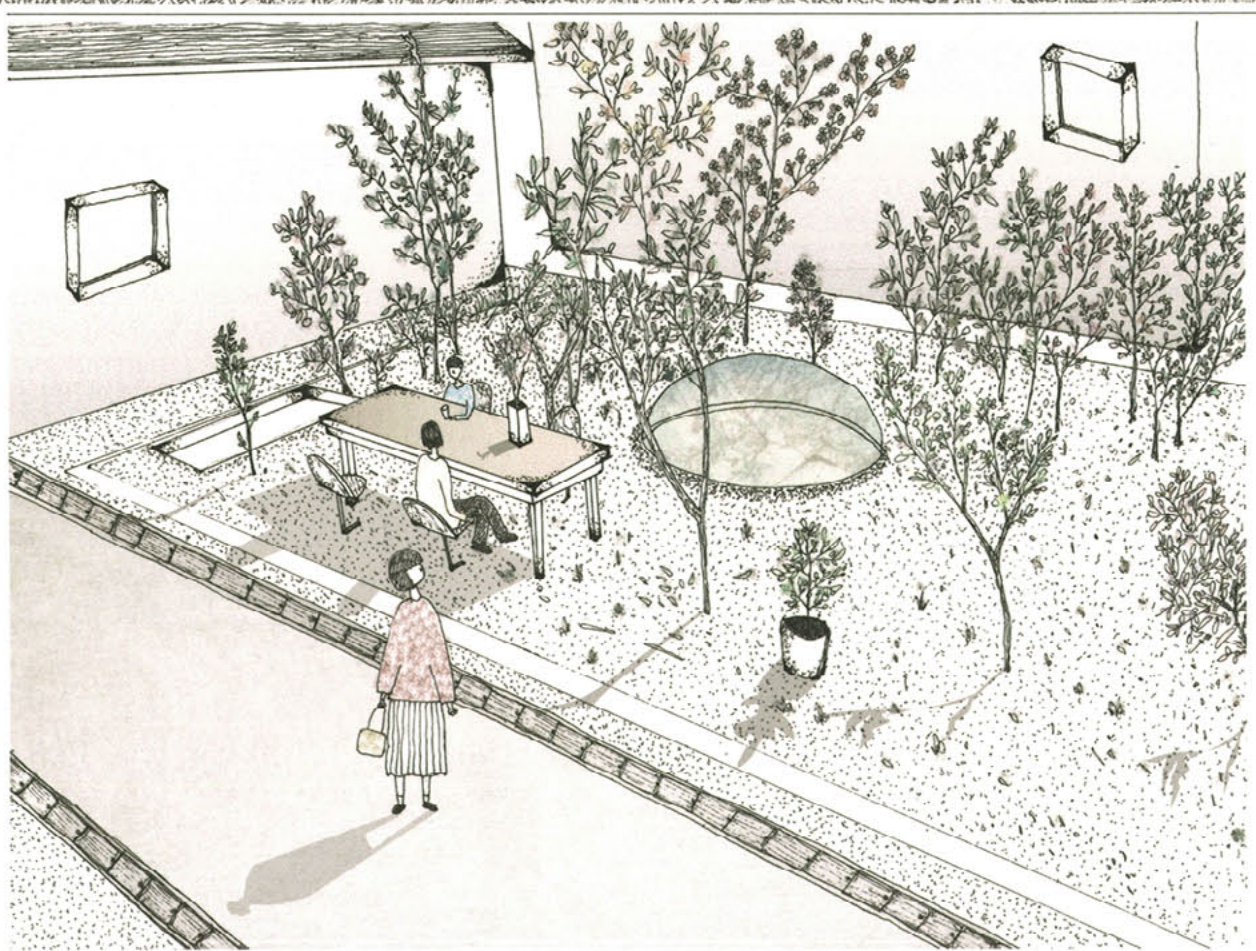
おおきなガラス玉を、中心に埋め込んだ家を提案する。

本計画ではガラスを「面」ではなく、おおきな「かたまり」として扱う。
この家ではガラスの「かたまり」に寄り添うように人々が住まう。
するとガラスは光によって、従来とは異なる価値観を纏いはじめる。

おおきなガラス玉は光を吸収・拡散し、内部空間にあたたかな光をもたらす。
角度・時間・場所によってその風景を映しこみ、様々な表情を見せる。
丸みのある空間は従来のシarpなガラスの空間にはない柔らかさがある。

光で満たされる、あたたかいガラスの空間。

「おおきなガラス玉のある家」を、新しいガラスの美学を切り開く
「あたたかいガラスの家」の本質的な姿としてここに提示する。



■ 外観: おおきなガラス玉を埋め込んだ敷地は街に開放される

■ 内観: おおきなガラス玉は光を吸収・拡散し、生活空間にあたたかな光をもたらす

■ 透視平面パース: すべての部屋がおおきなガラス玉に面する